

キャラクター名
 芦川 透也(あしかわ・とうや)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	UGNエージェント
	ブラックドッグ				
オプション		年齢	22	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	憎悪	初期侵食率	43%
出自	犯罪者の子	経験	UGNへの畏怖	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	1	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ヴィブロウィップ	白兵	4r+3	-	10		インシアチブにオートで装備、マイナーを使用してシーン間武器の攻撃力+5
	白兵	9r+3	-	30		
	白兵	10r+3	-	34		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
データブレイン	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
No.34 機械兵団(フルボーグ)	P	N		
岸保 カリ	P 庇護	N 無関心		
唯一の記憶	P 執着	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ハードワイヤード	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	ブラックドッグ専用アイテムをLV個取得し常備化、侵蝕率でレベルアップせず、侵蝕率基本値+4							
アームズリンク	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	判定ダイス+LV個							
ライトニングリンク	5	4	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果:	前提《アームズリンク》、攻撃力+[LV*4]、HP5点消失							
バリアクラッカー	2	4	メジャー	武器	-	対決	80%	
効果:	装甲無視、ガード不可、シナリオLV回							
C:ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-LV(下限値7)							
タッピング&オンエア	1	1	メジャー	視界	参照	自動	-	
効果:	電波傍受、送受信できる							
セキュリティカット	1	1	メジャー	至近	参照	自動	-	
効果:	セキュリティを切ったり電子ロックを解除							
小さき密偵	1	1	メジャー	-	-	自動	-	
効果:	体内に格納した小型ドローンで周囲を探索させる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「大丈夫。何があっても俺が護るから」
 経歴—
 12年前にFHから岸保カリと共に脱走し、UGN藤岡支部に保護された。
 脱走した際に相当の追撃を受けたのか、保護された際全身にかなりの損傷を負っており、全身を義体に置換することで何とか一命をとりとめた。
 頭部損傷の影響が重篤な記憶障害を患っており、保護後彼に残っていた唯一の記憶は『岸保カリを護る』のみであり、自分の名前を含む自己の記憶、FH時代の記憶、「護る」対象であった岸保カリの事さえも覚えていなかった。(苗字と名前の漢字表記は保護後につけてもらった)
 またエピソード記憶障害で短期記憶を保つことができないため、記憶はすべてバックアップデータとして保存し、1日の終わりに記憶整理を行っている。
 その際どんな記憶を残しておくべきなのか記録しておくために常にメモを持ち歩いている。
 自分の中に唯一残っていた『岸保カリを護る』という記憶に執着しており、事あるごとに「俺が護る」と言っている(がカバリングエフェクトはないしガード能力は皆無である)。
 【消失した記憶】
 FH構成員の元に生まれた子供で、岸保カリとは幼馴染で唯一心を開いていた存在。
 所属していたセルは主に暗殺や裏切り者の始末を請け負っており、覚醒後はチルドレンとして同様の任務にあたっていた。
 当時のコードネームは“nameless-18”。
 ある時何らかの理由で岸保カリが処分の対象となったことを知り、彼女を守るために2人でセルを脱走。
 追い詰められた際に《自爆装置》を使用し、追手はなんとか撃退したものの全身を損傷してしまい上記に至る。
 能力—
 左腕に収納しているヴィブロウィップを駆使して戦う白兵戦闘型。
 ヴィブロウィップに電流を通し巻き付けて気絶させる、硬度を強化してまるで細剣の様に貫くなどある程度遠距離・近接とも対応可能。